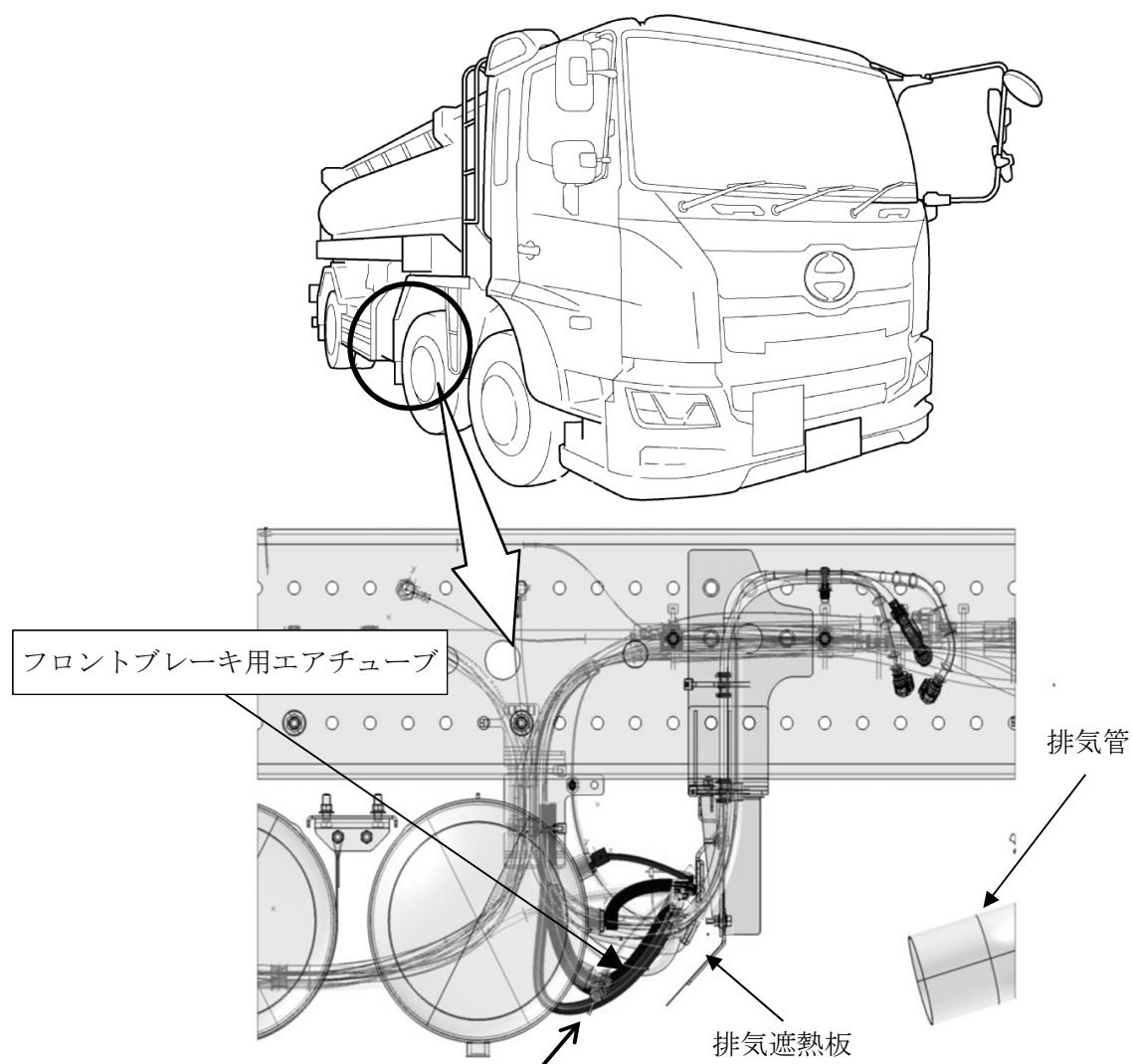


改善箇所説明図



注： は点検、交換する部品を示す。

基準不適合発生箇所

大型トラックにおいて、フロントブレーキ用エアチューブの組付けが不適切なため、排気遮熱板との位置がずれており、排気熱を直接受ける状態となっているものがある。そのため、当該チューブが排気熱により溶損してエアが漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容：

全車両、エアチューブの組付け位置を点検し、位置ずれが認められた場合は正しい位置に組み付けるとともにエアチューブを新品に交換する。なお、部品準備に時間を要するため、準備ができ次第、交換する。

識別：改善済車両にはネームプレートに白色ペイントを塗布する。